

第66回 卒業式

学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）

船浦中学校共通実践！一人一人が意識しよう

礼儀
積極的ににかかわる力
挨拶・返事・後始末

元気の挨拶は相手を
思いやる優しさ物事をやり抜く力
責任感

将来に必要な力を船中で身に付けよう！！

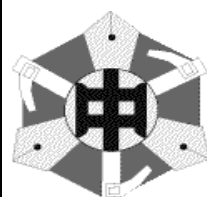
沃
野

発行

3月 第44号

船浦中学校

校長 宮城裕子



3月11日(土)9:30～令和4年度第66回卒業式を挙行了しました。コロナ禍の収束とともにマスク着用の指針の見直し等、3年ぶりに入場制限を設けない儀式的行事が開催できたこと、大変嬉しく思います。24名の来賓並びに地域の方もお招きし、たくさんの方に卒業生の「旅立ちならぬ島立ち」を祝っていただきました。ご来場本当にありがとうございました。会場には、この日に向けて在校生が一生涯懸命準備した卒業生へのメッセージ、お世話になった先生や多方面から寄せられた祝電等の掲示物で溢れていました。式典終了後の第二部では



「思い出のアルバム」の鑑賞に沸き、退場前は保護者から卒業生へ感動のサプライズ、「手紙～拝啓十五の君へ～」の大合唱がプレゼントされました。

令和5年度入試
沖縄県立高校学力検査
3月7、8日 15日合格発表

テスト開始前

ランチタイム



入試当日の様子…お疲れ様

受験終了!頑張った!



令和4年度船浦中学校 第66回卒業式

式 辞

穏やかな春の息吹が感じられる今日の佳き日に、竹富町教育委員会より 本町教育委員 川満晃弘（あきひろ）様をはじめ、多数のご来賓並びに地域の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和4年度 第66回卒業式「今を生きる若者たちよ 前を見れば道はある さあ進め」のテーマのもと、ここに盛大な卒業式が挙行できますことを心より厚く御礼申し上げます。

ただいま証書を手にした、名の卒業生の皆さん ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本校に入学してから色々な思い出がありました。その一つ一つは皆さんの、心と体の成長の糧になったと思います。これまで刻んできた三年間の思い出を胸に、いま学び舎を巣立っていきます。皆さんが中学校に入学してからは、新型コロナウイルスの影響でこれまでとは異なる学校生活を送り、ある意味記憶に残る中学校期となったことでしょう。ようやく社会は落ち着きつつあります。恐れと混乱の収束とともに、新しい考え方や行動が求められる社会になりました。

さて、本校には知・徳・体の調和を謳う学校教育目標に加え、脈々と受け継がれる校訓「自主・親愛・努力」があります。そして本年度の生徒会が掲げるモットー「協働・自主・尊重」、これら、めざす船浦中学校像の「最高学年」として、皆さんは本校の歴史と伝統・学校文化のよさを継承し、さらによりよい校風を築いてくれました。二学年、一学年の後輩に船中生としての誇りや模範を示してくれたことに感謝で一杯です。ありがとうございました。昨年の中頃は、先輩を見て自分たちもあんな風に立派になるのだろうか、とちょっと自身のなさそうな様子でした。4月の新任職員歓迎会でキレのいいダンスで出迎えてくれたときは、すでに自分たちが引っ張っていくのだという力がみなぎっていました。9月の文化祭での学年ダンスも見事でした。三年生の先輩に倣い、2年生、1年生も学年カラーを発揮し、エネルギーに身体で表現できたこと、一生懸命な姿が感動的でした。最高学年となった今年度は、山之内陽咲生徒会長をはじめ三年生が中心となり、生徒会モットーに則り「仲間を助け 仲間に支えられる」ことを実践してきました。三年生には、生徒会・委員会活動、部活動、様々な学校行事の運営等で一人一人にリーダーとしての役割がありました。「任せられる」ことで、様々な場面において小さな成功体験を積み重ね、各々の確実な成長に繋がりました。また、スピーチ集会がスタートしたときには、さすが三年生、その演説の雄弁さに感嘆したものです。そこには皆さんの成長を温かく見守ってくださった多くの支援があったことを忘れないで欲しいと思います。

二年前、校長講話で、「博士チャン」というTV番組で紹介された『桃太郎』は悪人？か、昔話桃太郎の内容に疑問持ち、それをしっかり調べて、自分なりの結論を出した女の子の話をしました。視点を変えて物事を捉えてみることで、自分の考えを持ち、行動することの大切さを考えてもらいました。そして、最後の校長講話は、アップルCEOのティム・クック氏に「どうしても会いたい」と言わせた88歳の若宮さん「世界最高齢のアプリ開発者を紹介しました。その方の自分を応援する言葉は“とりあえずやってみよう！”先のことなんか分からないから、さしあたり好きなことをやればいい。何か必要になった時は学び直せばいい。なりたい自分をめざして“とりあえずやってみよう！”」でした。今後、社会は急速に変化し、予測困難な社会になるとも言われています。今まで以上に自分の考えを表現することが求められます。色々な意見がある中で、お互いが納得できる最適な答えを見つける力、協働して課題解決する力がこれまで以上に求められます。

このような大きな時代の節目に中学校の卒業を迎えた皆さんには、まず、社会に主体的に関わることや豊かな感性をもとに、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となることを期待します。壁にぶつかったときは共に過ごした仲間、西表で過ごした大切な時間、そして自然の大地を思い浮かべてください。

次に、在校生の皆さん、卒業生が築いたよき校風と伝統をさらに発展させることが卒業生の後を引き継ぐ皆さんの役割です。多様性を認め、お互いを尊重し合いながら、夢や志に挑戦していきましょう。

結びに、保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。三年間にわたり皆様にとってかけがえのない大切なお子さまをお預かりし、本校教職員一同、子どもたちの成長のために尽力してまいりました。本日、子どもたちはこんなに立派に成長しました。誇りに感じるとともに、この成長を保護者の皆様とともに喜びたいと思います。この三年間、PTA活動や地域活動を通して、本校の教育に深いご理解と多大なご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。卒業を心から祝福し、将来が夢と幸せで一杯でありますよう祈念し式辞といたします。

令和5年 三月十一日
竹富町立船浦中学校
校長 宮城裕子

* 成功する秘訣を教えてほしい、どうすれば夢を実現することが
できますかとよく人から尋ねられる。自分でやってみることだと私は答えている

by - ウォルト・ディズニー -